

台湾行政院国家科学委员会（科学技術省相当）副大臣一行が 大阪大学蛋白質研究所を視察

台湾行政院国家科学委员会（科学技術省相当）張文昌副大臣一行が、去る10月13日（水）に表敬訪問・懇談等を兼ねて本研究所を訪問された。

今回の訪問は、副大臣が、大阪大学蛋白質研究所で行われている研究に大変興味をもっておられることから、科学技術振興機構（JST）の紹介を通じて実現した。

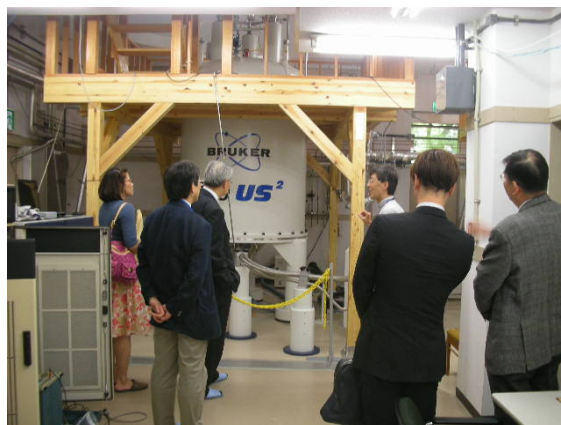
蛋白質研究所と台湾の大学・研究機関では、今までに共同研究や学生交流等の具体的な実績が積み上がっており、これに対する感謝の意が副大臣より表明された。

関口教授による細胞外マトリックス及び再生医療のための細胞培養（特にES/iPS細胞や組織幹細胞の培養）に有用な培養基材の開発について説明が行われた後、免疫組織化学画像データベースの紹介があり、研究交流に対する今後の取り組みについて活発な意見交換がおこなわれた。引き続き、長谷俊治所長から研究組織・内容や施設の概要説明が行われた後、一行は超電導核磁気共鳴実験棟を視察された。

この視察には、副大臣のほか台北駐日経済文化代表処科学技術部課長の鄒旻槐（TSOU MINHUI）氏、台湾行政院国家科学委员会国際合作所副研究員の鄭慧娟氏が随行された。



①所長室での懇談の様子



②超高磁場 NMR の現地説明



③副大臣一行との記念撮影